平成20年3月期（第11期）
第1四半期決算説明会

株式会社Ｊストリーム

もっと素敵な伝え方を。
Jstream

バランスシート（連結）

（単位：千円）

		20. 1Q	19. 03期	主な変動要因	19. 1Q
資産の部	流動資産	2,940,637	3,126,500	▶現預金 △49百万円 売掛金 △133百万円	2,774,116
	固定資産	714,065	714,965		803,451
	有形固定資産	178,386	165,521		181,807
	無形固定資産	264,920	265,390		261,015
	投資その他の資産	270,758	284,053		360,628
資産合計		3,654,702	3,841,466		3,577,567
負債の部	流動負債	436,123	602,897	▶未払金 △107百万円 未払法人税 △103百万円	449,826
純資産の部	株主資本 資本金	2,182,379	2,182,379		2,172,924
	株主資本 資本剰余金	1,430,642	1,430,642		1,421,187
	株主資本 利益剰余金	△459,146	△443,912		△533,217
	少数株主持分	64,703	69,459		66,846
	純資産合計	3,218,579	3,238,568		3,127,741
負債・純資産合計		3,654,702	3,841,466		3,577,567

決算ハイライト P/L

（単位：千円）

	20. 1Q (連結) A			20. 1Q (個別)		19. 1Q (連結) B		増減比 (A:B)
売上高	944,642	(100%)		891,248	(100%)	856,457	(100 %)	(+10.3%)
売上原価	543,385	(57.5%)		513,264	(57.6%)	527,740	(61.6%)	(+3.0%)
売上総利益	401,256	(42.5%)		377,983	(42.4%)	328,716	(38.4%)	(+22.1%)
販売費及び一般管理費	396,433	(42.0%)		367,733	(41.3%)	277,965	(32.4%)	(+42.6%)
営業利益	4,822	(0.5%)		10,250	(1.2%)	50,751	(6.0%)	(△90.6%)
経常利益	△315	(△0.0%)	持分法投資損失 10,570	21,501	(2.4%)	41,870	(5.0%)	-
税金等調整前当期純利益	2,861	(0.3%)	法人税等 15,422	24,631	(2.8%)	41,957	(5.0%)	(△93.2%)
当期純利益	△15,234	(△1.6%)	少数株主損益 △4,755	1,959	(0.2%)	42,533	(5.0%)	-

＜連結⇔個別の主要な項目＞

営業外費用のうち持分法投資損失　10,570

少数株主損益　△4,755

▶ 前期対比売上高10％増、原価率低下は制作案件の小規模化の影響が大きい
販管費中の特殊出費の影響から連結ベースで経常赤字となるが、想定の範囲。

売上原価　構成比率 (連結)

※20. 1Q構成比率順　単位：千円

	20. 1Q		19. 1Q		19. 03期		備考
外注費	158,644	(29.2%)	192,538	(36.5%)	715,927	(34.1%)	人的費用の合計 20. 1Q 328,767 19. 1Q 343,087 (△4.2%)
労務費	125,212	(23.0%)	99,642	(18.9%)	427,631	(20.4%)	
通信費	81,535	(15.0%)	78,046	(14.8%)	318,085	(15.2%)	
ロイヤリティ	69,433	(12.7%)	45,301	(8.6%)	197,557	(9.4%)	
業務委託手数料	44,911	(8.2%)	50,907	(9.7%)	197,665	(9.4%)	
賃借料	19,785	(3.6%)	19,510	(3.7%)	80,030	(3.8%)	
保守料	18,770	(3.4%)	16,816	(3.2%)	68,715	(3.3%)	
ソフトウェア償却	15,836	(2.9%)	14,541	(2.8%)	63,471	(3.0%)	
減価償却費	12,891	(2.3%)	12,836	(2.4%)	59,135	(2.8%)	
地代家賃	12,394	(2.2%)	9,185	(1.7%)	39,244	(1.9%)	
その他及び他勘定振替	△16,026	(△2.9%)	△11,582	-	△69,969	(△3.3%)	
売上原価合計	543,385		527,740		2,097,491		

▶ コンテンツ配信や映像フォーマット利用のためのロイヤリティ支払(Flashが中心)が急増
制作案件の小型化から制作外注費用が大幅減

販売費及び一般管理費主要項目 (連結)

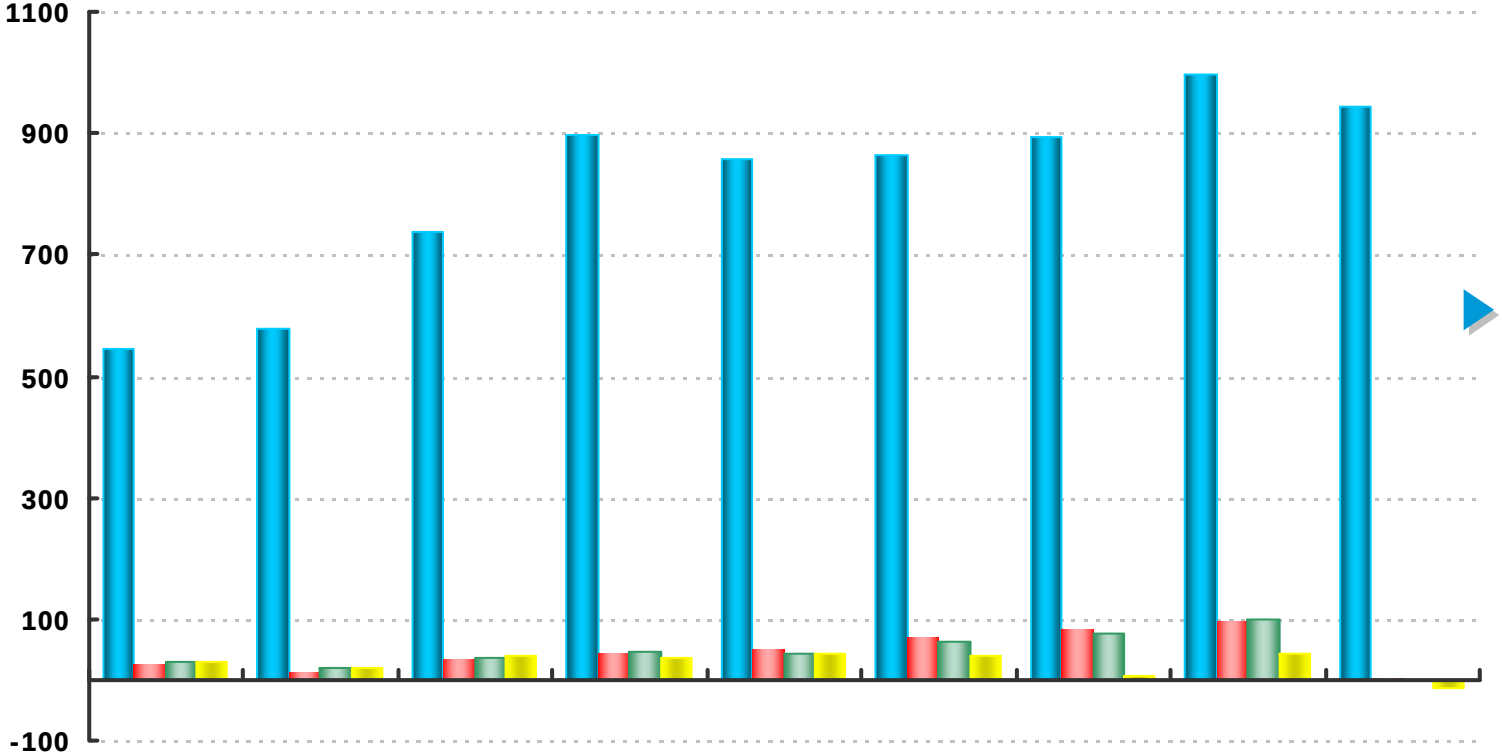
※20. 1Q構成比率順　単位：千円

	20. 1Q		19. 1Q		増減費	19. 03期		備考
人件費	181,867	(45.9%)	148,291	(53.4%)	+22.6%	631,628	(52.0%)	
販売促進費・広告宣伝費	34,716	(8.8%)	17,900	(6.4%)	+93.9%	104,717	(8.6%)	
交際費	29,421	(7.4%)	1,667	(0.6%)	+1,664.9%	9,669	(0.8%)	
販売支援費	16,570	(4.2%)	13,664	(4.9%)	+21.3%	65,044	(5.4%)	
地代家賃	16,473	(4.2%)	12,418	(4.5%)	+32.7%	53,120	(4.4%)	
業務委託手数料	16,335	(4.1%)	7,337	(2.7%)	122.6%	37,763	(3.1%)	
研究開発費	12,537	(3.2%)	5,612	(2.0%)	+123.4%	34,344	(2.8%)	
株式関係費	12,223	(3.1%)	12,421	(4.5%)	-1.6%	31,493	(2.6%)	
求人費	9,480	(2.4%)	6,373	(2.3%)	+48.8%	37,579	(3.1%)	
その他 (雑費、旅費交通費、支払手数料、賃借料等)	66,811	(16.9%)	52,282	(18.8%)	+27.9%	208,560	(17.2%)	
販売費及び一般管理費合計	396,433		277,965		+42.6%	1,213,917		

▶ ブランディングサイト構築、ITメディア露出を中心とした販売促進策推進に伴い費用増加
増床により地代家賃が増加（他移転関連支出22百万円）
10周年記念イベント関連支出により交際費が大幅に増加

四半期別利益推移 (連結)

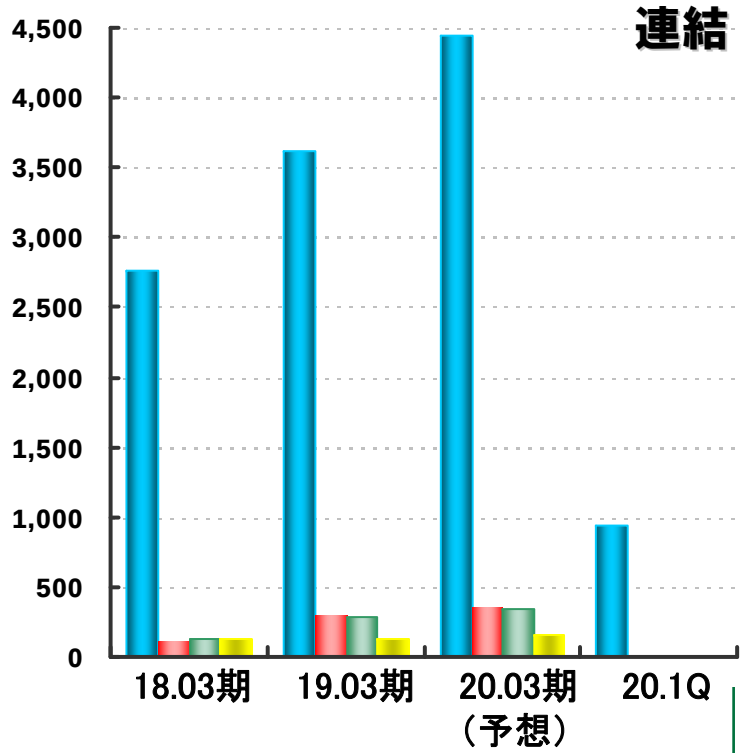
（単位：百万円）

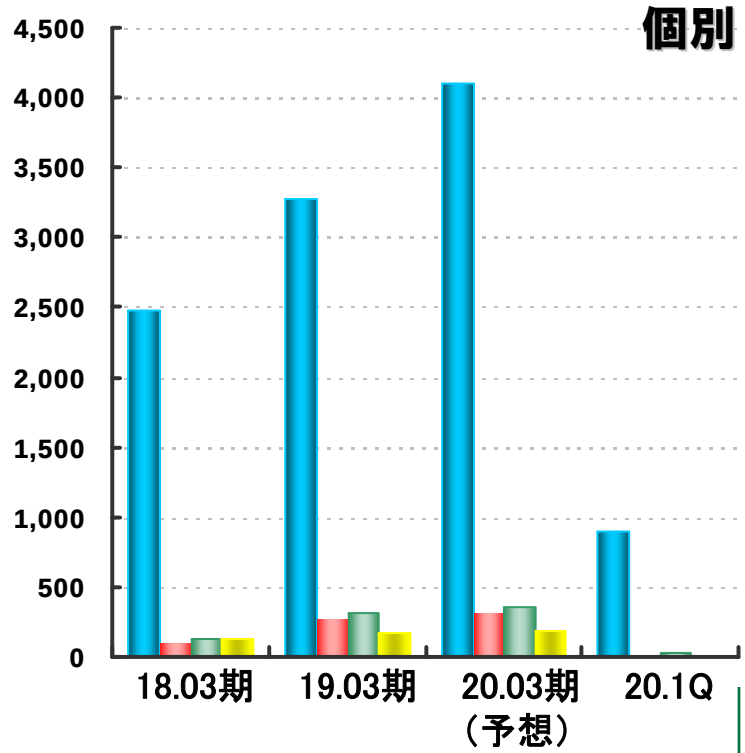


▶ 売上の増加傾向は堅持。第4四半期からの反動も最小限度にとどまる。

	18.1Q	18.2Q	18.3Q	18.4Q	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q
売上高	546	578.5	739	898	856.4	863.9	894.1	997.4	944.6
営業利益	27.3	12.8	32.8	41.8	50.7	70.7	81.4	97.6	4.8
経常利益 経常利益率	30.8 5.6％	19.3 3.3％	37.4 5.1％	47.5 5.3％	41.8 4.9％	62.7 7.3％	75.6 8.5％	100.6 10.1％	△0.3 △0.0％
純利益	30.5	18.9	39.1	34.8	42.5	39.2	7.7	42.3	△15.2

通期予想達成度



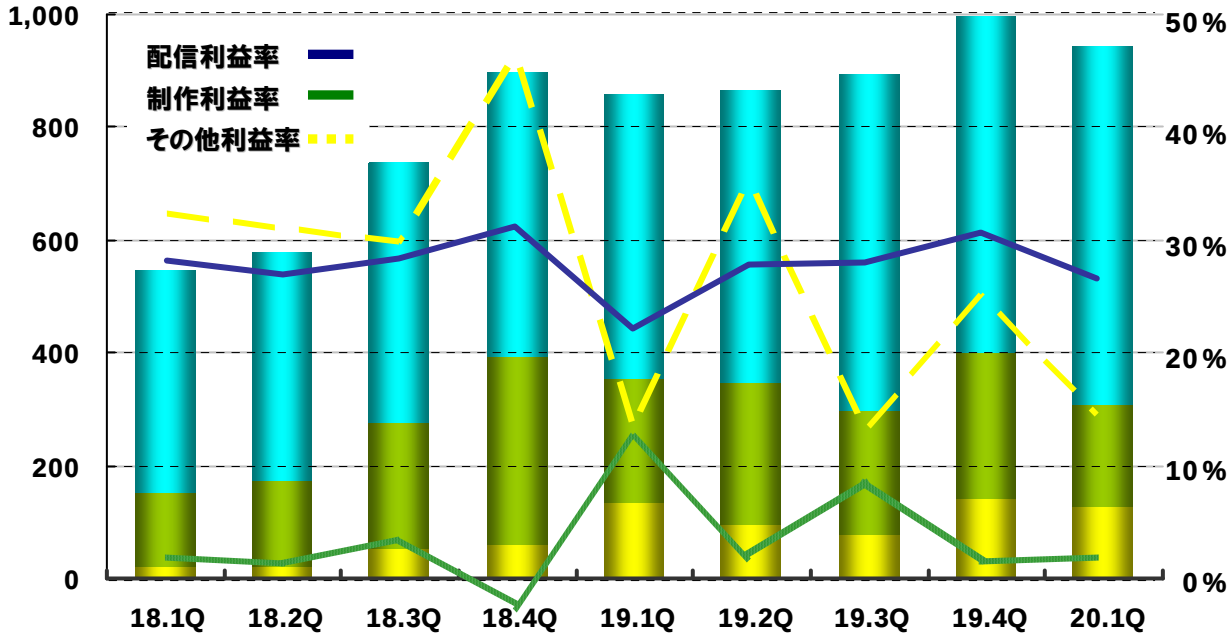


					20期達成率
売上高	2,761	3,612	4,450	944	21.2％
営業利益	114	300	360	4	0.1％
経常利益	135	280	340	△0.3	－
純利益	123	131	160	△15	－

					20期達成率
売上高	2,481	3,271	4,100	891	21.7％
営業利益	93	269	320	10	3.2％
経常利益	129	310	360	21	6.0％
純利益	122	169	190	1	1.0％

連結セグメント売上／利益状況

（単位：百万円）



	18.1Q	18.2Q	18.3Q	18.4Q	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q
配信	28.1％	27.0％	28.3％	31.2％	22.3％	27.8％	27.9％	30.6％	26.6％
制作	2.0％	1.4％	3.5％	-2.2％	12.5％	2.2％	8.7％	1.7％	2.0％
その他	32.3％	31.1％	29.8％	46.2％	13.5％	34.8％	13.2％	25.2％	14.7％

配信	393	405	461	505	503	518	596	596	636
制作	131	153	226	331	217	250	219	260	182
その他	23	20	52	60	135	97	78	140	125
合計	546	579	739	897	856	865	894	997	944

◆19．4Qにモバイルの比較的大規模な制作案件があった反動、またウェブ制作の大型案件が少なかったこと、により制作売上が大幅減少

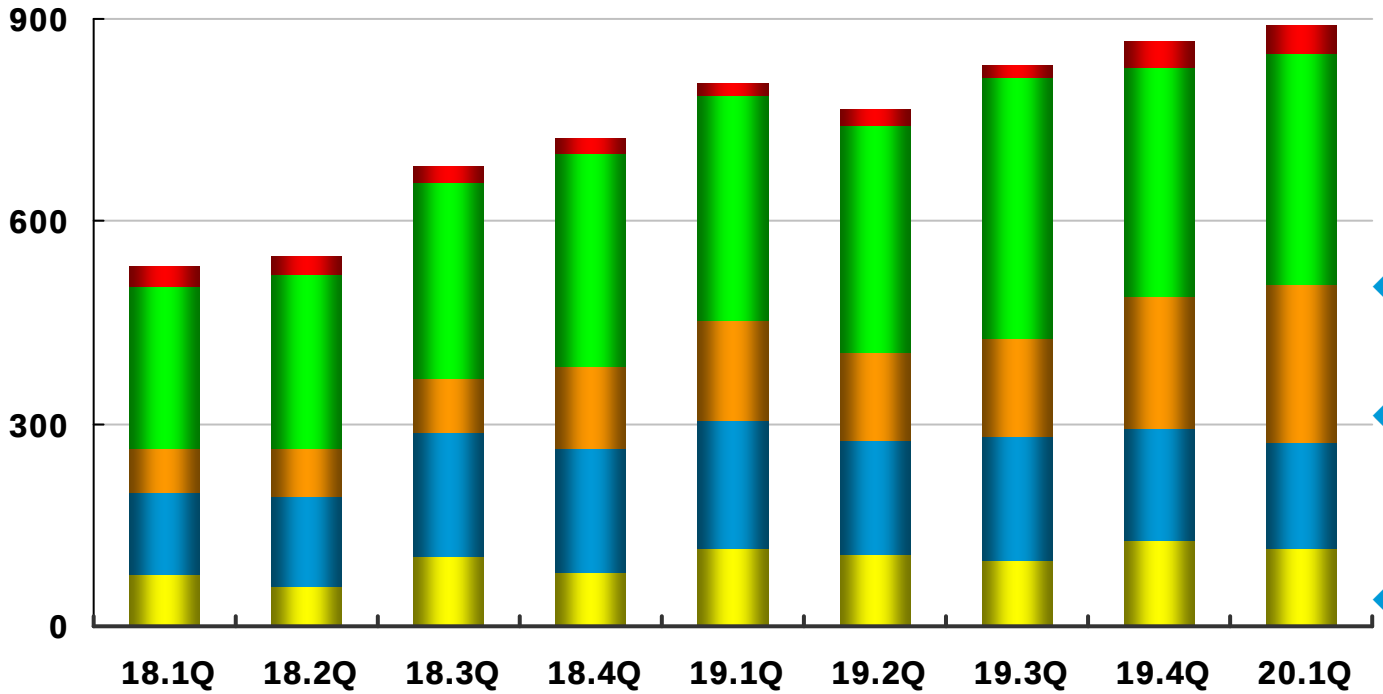
20．1Q 連結セグメント／費用／利益

	売上高	営業費用	営業利益
配信	636	467	169
制作	182	178	3
その他	125	107	18
	944		

※セグメント間の振替や消去分を含む詳細は財務・業績の概況p.19をご参照ください。

商品別売上推移(個別)

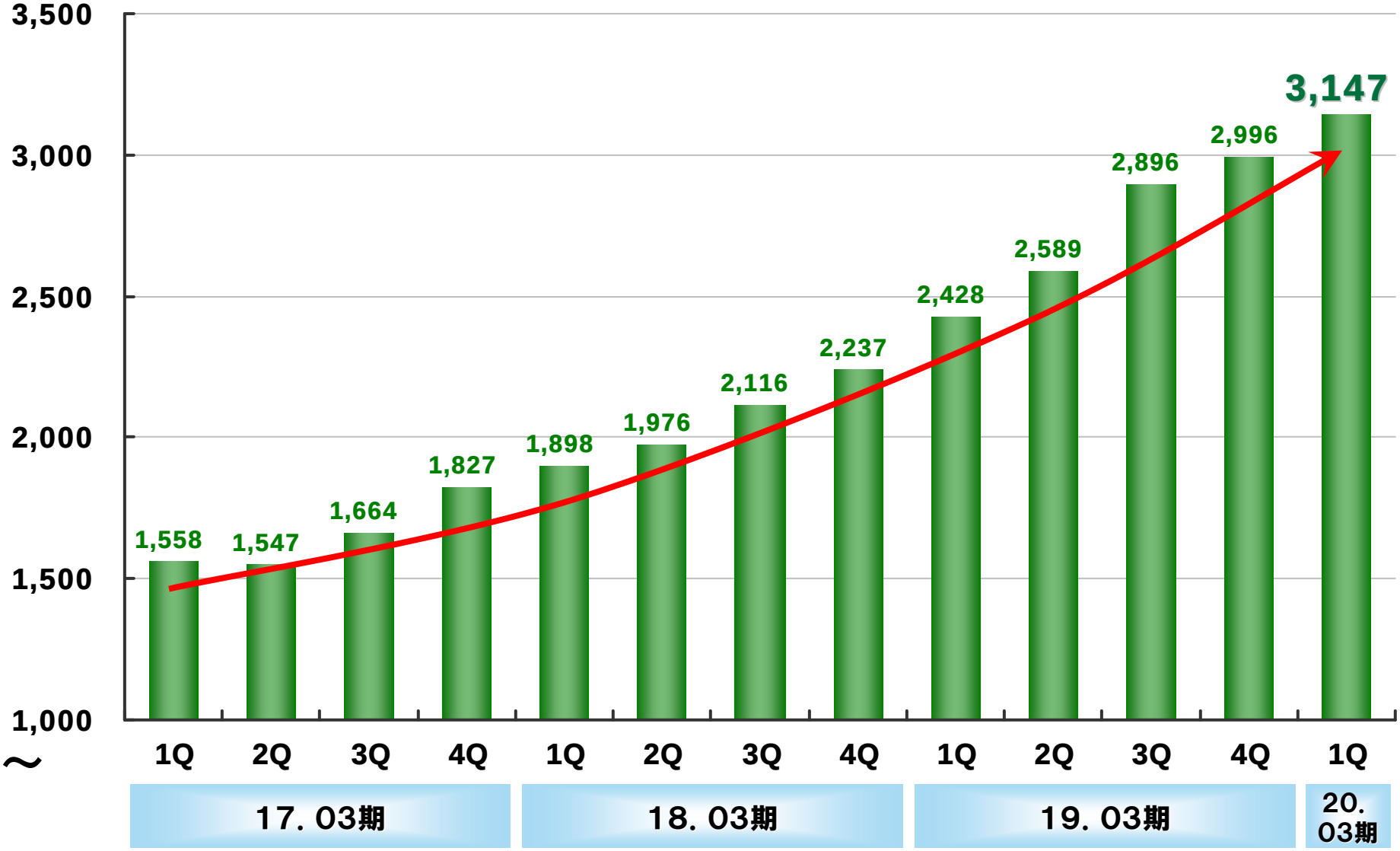
（単位：百万円）



	18.1Q	18.2Q	18.3Q	18.4Q	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q
ライブ	31	26	23	21	18	23	18	37	41
オンデマンド	238	259	291	316	333	337	386	341	342
モバイル	65	71	79	121	148	130	146	195	233
制作	123	133	185	183	189	169	184	165	156
その他	77	58	103	81	114	105	96	126	116
合計	533	547	680	721	804	766	832	867	890

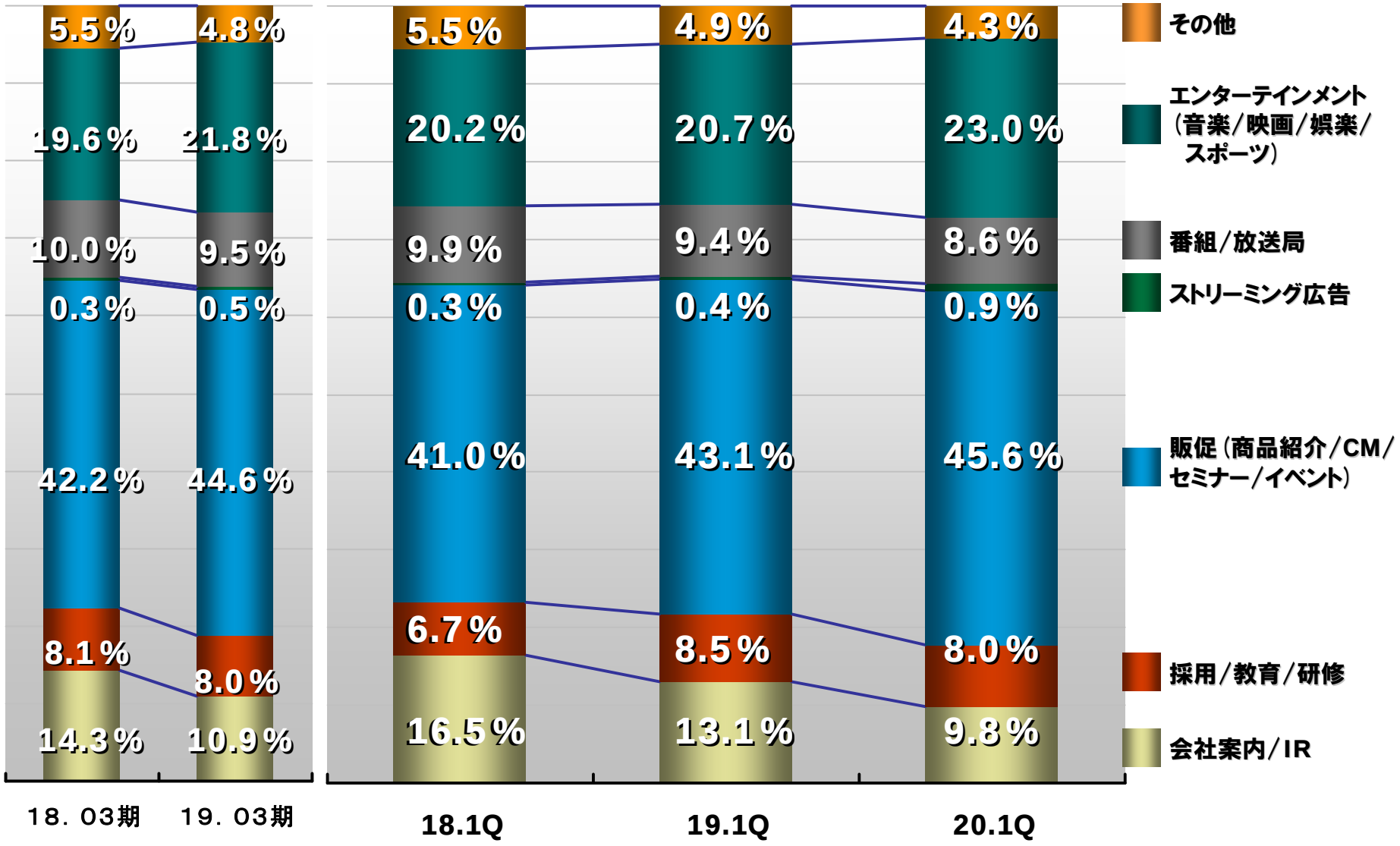
- 定期イベントやメディア系利用によりライブが復調
- 一般企業による携帯電話を利用したプロモーション増加に伴いモバイルが好調
- 制作案件に大型のものが少なかったため低下傾向

取引案件数動向



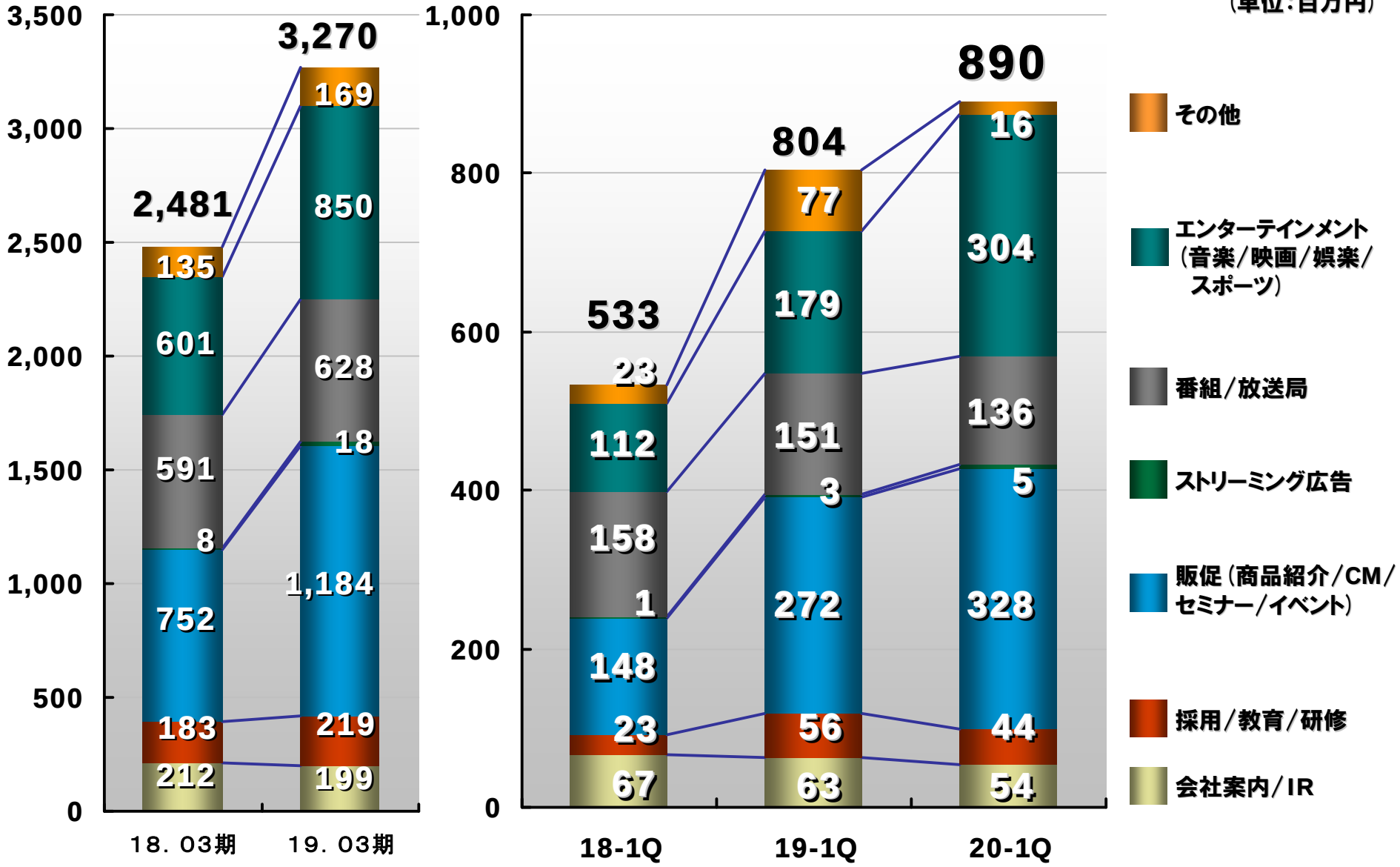
▶ 案件数の伸びは引き続き順調

利用シーン別取引件数比率(個別)



用途別売上比率(個別)

（単位：百万円）



▶ 引き続き販促、エンタメ用途の伸びが著しい。

投資方針

（単位：百万円）

投資戦略	投資項目	11期計画
サービス強化	■配信容量の増加をコストを抑えつつ実施 ■ネットワーク機器／キャッシュサーバ／サーバ 増設 ■ライブエンコード、制作強化 ■Webinarサービス強化 ■著作権保護対応機能強化 ■モバイル配信サービス強化(Jmods、Flash対応など) 音声配信システムソフトウェア 7　サーバー等 5	46 （419）
サービス 開発系投資	■Flash関連：Jフラット改良・強化 ■グリッド配信(P2P)システム関連 ■PC以外の機器へのコンテンツ配信サービス対応	
社内システム	■販売管理・原価管理システム強化 ■メールサーバー増強 ■J-SOX対応体制 ■オフィス拡張に伴う投資　17	

第１１期 事業計画
進捗状況

もっと素敵な伝え方を。
Jstream

ビジネス領域ごとの動向①

メディア関連市場

- ◆大手CPとの協業モデル
- ◆メディア系企業(TV、ラジオ、新聞)、関連事業者との協業
- ◆動画広告のスキームと販売支援

→ 映像配信サイト、コンテンツへの関わりなどの案件が進行中

ビジネス市場

- ◆企業Webサイトのリッチメディア化提案
- ◆代理店施策の見直しと、支援体制づくり
- ◆広告代理店との関係強化
- ◆PC、モバイルのクロスメディア提案
- ◆オンライン販売「Jフラット」の拡販体制

→ プロモーション中心に案件を継続的に発掘できている

ビジネス領域ごとの動向②

モバイル市場

- 一般企業向けソリューションの開発
- 引き続きｉチャネルの拡販
- 大容量(長尺)コンテンツの配信
- モバイル広告商品へのリッチコンテンツ利用の推進
- LSJ会員数増加施策

契約サイト数 76

利用する個人ユーザーも増加しており引き続き拡販体制

CGM・新規事業

- 「castella」のビジネスモデル確立
- HIPCAST(ポッドキャスト作成・配信ツール)の事業者向け提供
- Viralマーケティングサービス開始
- ゲーム内広告(ex.セカンドライフ)取組み、検討

現時点では番組配信への利用が中心

情報発信、プロモーション用途の案件随時実施中

第11期業績予想：期初発表から変更なし

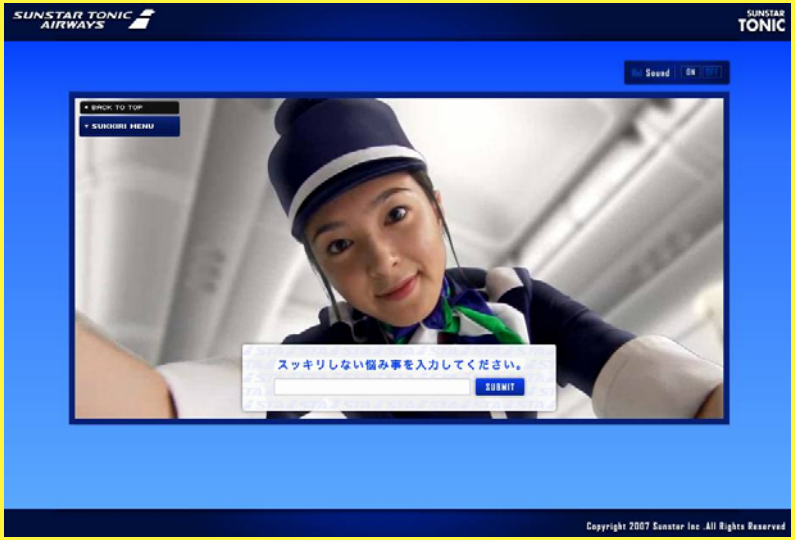
(単位：百万円)

	連結	個別
売上高	4,450 10期実績比＋23.2％	4,100 10期実績比＋25.3％
営業利益	360 10期実績比＋19.8％	320 10期実績比＋18.7％
経常利益	340 10期実績比＋21.0％	360 10期実績比＋16.0％
当期純利益	160 10期実績比＋21.4％	190 10期実績比＋11.9％

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。

第１四半期活動のご紹介

サンスター株式会社
『SUNSTAR TONIC AIRWAYS』
http://www.tonic-air.jp/



商品の良さを楽しみながら知ってもらうプロモーションサイト

開始1か月で20万を超えるユニークユーザーが訪問

アドビシステムズ社と協力し Flash Videoを利用したライブ配信を実施

6月8日に行われた「Adobe Creative Suite 3 発表記念イベント」の基調講演の模様を、アドビ社と協力し、Flash Media EncoderとFlash Media Server 2.0を利用してライブ中継

On2 VP6を搭載したFlash Media Encoderによる初めての大規模なライブ中継配信

ホーム / デベロッパーセンター / Flash Media Serverデベロッパーセンター /

Flash Media Server記事

Flash Media Encoder 1.0を利用したライブ中継

近森 信輝
株式会社Jストリーム

作成日:
2007年6月13日
ユーザレベル:
上級

中継概要

Jストリームとアドビ システムズ社は、2007年6月8日に行われた「Adobe Creative Suite 3 発表記念イベント」の基調講演の模様を、Flash Media Encoder 1.0とFlash Media Server 2.0を利用して、ライブ中継配信致しました。

これは、On2 VP6を搭載したFlash Media Encoder 1.0による初めての大規模なライブ中継配信となります。

JストリームはアドビシステムズとFlash Video Streaming Service契約を結び、大規模なFMSを使った配信ができる国内唯一の企業であり、2003年からFlash Videoのホスティングサービスの提供を開始しておりましたが、今回のFlash Videoによる、世界初のライブ中継にも携わることができ、大変喜んでおります。Flash VideoはFlashコンテンツ内でビデオ配信ができるその高い表現能力と、プレイヤーの普及率から、これまでも、弊社でお取引のある多くのメディア関係者様、企業様、クリエイターの方々からも注目を浴びてきました。

ライブ中継配信に関しましても、リクエストの声は日に日に高まっていた中、今年の2月にFlash Media Encoder 1.0がリリースされたことで、いよいよ高品位なライブ配信が可能になりました。Jストリームではオンデマンドでのサーバー運用の経験とライブ中継専門のエンジニアリングチームのノウハウを生かし、早くからFlashによるライブ中継のサービス体制を整え、今回のこの機会を心待ちにしておりました。

配信について

数多くインターネットライブ中継をこなしている弊社では、配信サーバー網の構成をすべて2重化しております。配信サーバーを複数のサーバーセンターに分散させることで、予期しない大規模トラブルでもスムーズに配信が行える体制になっております。

質疑・応答

もっと素敵な伝え方を。
Jstream

ありがとうございました

もっと素敵な伝え方を。

Jstream